

特定非営利活動法人日本火山学会 平成 29 年度定例総会議事録

開催日時及び開催場所

2017 年 5 月 22 日 12 時 30 分～13 時 05 分

千葉県千葉市 幕張メッセ国際会議場 コンベンションホール A

初めに出席数及び委任状提出数が報告された。維持会員数 298 名，うち会場出席者 49 名，委任状提出者 58 名で，合計 107 名となり定足数（100 名）を超えたため本総会は成立している旨報告された。これを受けて，会長が開会を宣言した。

庶務委員会報告

会員動向（資料 1）について，庶務委員会から報告した。2017 年定例総会時の会員数は 1063 名，うち維持会員は 298 名である。

大会委員会報告

秋季大会の参加費の値上げについて，2016 年度第 6 回理事会での決定を受けて本年度より 4,000 円に値上げすること，また予稿集の pdf 化及び冊子の予約有償販売を行うことが報告された。

2017 年度秋季大会の準備状況が報告された。2017 年度秋季大会は熊本大学で 9 月に実施すること，本年度からセッション提案を部分的にとり入れることが説明された。2018 年度秋季大会の開催地について，2016 年度第 6 回理事会での決定を受けて，秋田大学で開催予定であることが報告された。また，2019 年度の開催地の公募スケジュールについて説明した。

財務委員会議題及び報告

議案 1. 2016 年度決算案報告。

財務委員会より，2016 年度の決算案（資料 2）及び監事 2 名による監査結果について報告した。採決の結果，決算は財務委員会報告通りに承認され確定した。

議案 2. 2017 年度予算案

2017 年度予算案（資料 3）の内容について財務委員会から説明した。採決の結果，予算案は財務委員会の提案通りに承認された。

各賞選考委員会議題及び報告

議題 3. 日本火山学会各賞候補者の推薦

各賞選考委員会から，2016 年度第 2 回理事会が議決した各賞候補者（資料 4）と選考理由の説明があった。採決の結果，理事会提案通り受賞者を承認した。

報告事項

第2回理事会の決定を受けて、各賞表彰規程の一部改訂（資料5）が説明された。秋季大会における学生優秀発表賞の迅速な確定と表彰を行うため、優秀発表賞の選考を理事会決定事項とすること、各人の受賞は1回に限る旨を規程に明文化することが報告された。

議事録署名人として、篠原宏志、西村太志会員を選出し、総会を閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証します。2017年5月29日

日本火山学会長 井口正人

議事録署名人 篠原宏志

西村太志

資料 1

会員動向

1. 入退会希望

2016 年度秋季大会後・入会（承認済み） 17 名 団体 2 件
維持会員 1 名，学術会員 9 名，一般会員 7 名，団体一般会員 2 件
2017 年度連合大会後・入会（未承認） 4 名
維持会員 0 名，学術会員 2 名，一般会員 2 名
2016 年度・退会 14 名
維持会員 3 名，学術会員 10 名，一般会員 1 名
2017 年度・除名対象 19 名
維持会員 3 名，学術会員 15 名，一般会員 1 名

2. 会員数

	維持会員	学術会員	一般会員	計
2016 年秋季大会後（個人）	287	693	80	1060
2016 年秋季大会後（団体）	2	0	16	18
名誉会員	9	0	0	9
2016 年秋季大会後・合計	298	693	96	1087
2016 年秋季大会後入会（個人）	1	9	7	17
2016 年秋季大会後入会（団体）	0	0	2	2
2017 年連合大会後入会（個人）	0	2	2	4
2016 年学生会員・会員資格継続	0	1	0	1
逝去	0	1	0	1
2016 年度退会	3	10	1	14
2017 年度学生会員継続申請未定出	0	33	0	33
区分変更	2	-2	0	0
2017 年度第 1 回理事会時の合計	298	659	106	1063
2017 年除名対象	3	14	1	18
2017 年対象者除名後	295	645	105	1045

資料 2

平成 28 年度決算

平成 28 年 4 月 1
日から平成 29 年
3 月 31 日

特定非営利活動に係る事業会計(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額	増減
《経常収入の部》			
会費収入	8,117,000	8,589,000	-472,000
寄付金収入	0	1,000,000	-1,000,000
補助金等収入	900,000	900,000	0
事業収入	2,804,000	2,314,022	489,978
その他収入	203,000	317,945	-114,945
経常収入合計	12,024,000	13,120,967	-1,096,967
《経常支出の部》			
【事業費】			
火山学に関する定期大会等の開催費	2,910,000	1,469,507	1,440,493
会誌機関紙研究報告書等発行費	5,340,000	3,990,752	1,349,248
公開講座講演会等開催費	1,000,000	900,000	100,000
火山学の普及啓発に関する事業費	5,950,000	262,701	5,687,299
火山学に関する研究奨励表彰費	970,000	28,200	941,800
助成金支出	800,000	600,000	200,000
期首・期末棚卸	0	225,273	-225,273
【事業費】合計	16,970,000	7,476,433	9,493,567
【管理費】合計	8,711,133	6,334,672	2,376,461
【経常支出】合計	25,681,133	13,811,105	11,870,028
当期経常増減額	-13,657,133	-690,138	-12,966,995
固定資産額		21,542,000	
前期繰越収支差額		13,674,441	
次期繰越収支差額		13,221,320	-453,121

資料 2 (続き)

財 産 目 録

特定非営利活動法人日本火山学会

[税込](単位:円)

特定非営利事業

平成 29 年 3 月 31 日 現在

《資産の部》		
【流動資産】		21,596,590
現金・預金	17,279,607	
未収会費	748,000	
棚卸資産	2,930,617	
未収金	630,557	
前払費用	7,809	
【固定資産】		21,542,000
その他の固定資産 合計	7,246,810	
有形固定資産 計	14,295,190	
資産の部 合計		43,138,590

《負債の部》		
【流動負債】		5,436,844
前受会費	5,385,000	
預り金(給与源泉所得税等)	51,844	
負債の部 合計		5,436,844

正味財産		37,701,746
------	--	------------

資料 3

平成 29 年度予算

勘定科目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	平成 29 年 4 月 1 日から平 成 30 年 3 月 31 日まで
				前年度決算と の差異
非特定営利活動に係る事業会計(単位: 円)				
【経常収入】				
会費収入	8,288,000	8,117,000	8,589,000	301,000
寄付金収入	0	0	1,000,000	1,000,000
補助金等収入	900,000	900,000	900,000	0
経常収入				
事業収入	2,775,500	2,804,000	2,314,022	-461,478
その他収入	301,000	203,000	317,945	16,945
【経常収入】 合計	12,264,500	12,024,000	13,120,967	856,467
【経常支出】				
火山学に関する定期大会等の開催費	2,500,000	2,910,000	1,469,507	-1,030,493
会誌機関紙研究報告書等発行費	4,530,000	5,340,000	3,990,752	-539,248
公開講座講演会等開催費	1,000,000	1,000,000	900,000	-100,000
火山学の普及啓発に関する事業費	6,320,882	5,950,000	262,701	-6,058,181
火山学に関する研究奨励表彰費	500,000	970,000	28,200	-471,800
助成金支出	800,000	800,000	600,000	-200,000
期首・期末棚卸	0	0	225,273	225,273
事業費 計	15,650,882	16,970,000	7,476,433	-7,974,449
管理費	8,057,893	8,711,133	6,334,672	-1,432,161
【経常支出】 合計	23,708,775	25,681,133	13,811,105	-9,406,610
当期経常増減額	-11,444,275		-690,138	10,263,077
固定資産額	21,542,000		21,542,000	
次期繰越収支差額	1,777,045		13,221,320	-11,406,336

資料 4

日本火山学会 2017 年度各賞候補者

日本火山学会賞：該当なし

日本火山学会研究奨励賞：該当なし

日本火山学会優秀学術賞：下司信夫（産業技術総合研究所）

日本火山学会普及啓発賞：千葉達朗（アジア航測株式会社）、及びアジア航測株式会社

日本火山学会論文賞：Fukashi Maeno, Setsuya Nakada, Teruki Oikawa, Mitsuhiro Yoshimoto, Jiro Komori, Yoshihiro Ishizuka, Yoshihiro Takeshita, Taketo Shimano, Takayuki Kaneko and Masashi Nagai (2016) Reconstruction of a phreatic eruption on 27 September 2014 at Ontake volcano, central Japan, based on proximal pyroclastic density current and fallout deposits. *Earth, Planets and Space* 2016 68:82

学生優秀論文賞：

山田大志. 対象論文 Yamada, T., H. Aoyama, T. Nishimura, M. Iguchi, and M. Hendrasto (2017), Volcanic eruption volume flux estimations from very long period infrasound signals, *Geophys. Res. Lett.*, 44, 143-151, doi:10.1002/2016gl071047

関 香織. 対象論文 Seki, K., Kanda, W., Tanbo, T., Ohba, T., Ogawa, Y., Takakura, S., Nogami, K., Ushioda, M., Suzuki, A., Saito, Z., Matsunaga, Y., Resistivity structure and geochemistry of the Jigokudani Valley hydrothermal system, Mt. Tateyama, Japan, *J. Volcanol. Geotherm. Res.*, 325, 15-26, doi:10.1016/j.jvolgeores.2016.06.010, 2016.

学生優秀口頭発表賞：

有賀貴史 A1-05 斑晶鉱物の組成累帯構造から探る富士火山宝永噴火の噴火過程

天野大和 A1-06 富士火山宝永噴火の玄武岩質マグマ上昇過程：斜長石マイクロライトからの制約

学生優秀ポスター発表賞：

柳澤妙佳 P28 秋田駒ヶ岳火山，主成層火山形成期の TH・CA マグマの組成変化

杉村俊輔 P49 2015 年 6 月の臨時観測によるストロンボリ火山の噴火地震の相対震源決定(2)

菅野 洋 P64 連続スラグ流実験で計測される特徴的空気振動波形

資料 5

表彰規程の改訂案

表彰規定の3. 及び7. を改訂する。変更後の修正箇所は以下の下線部である。

非特定営利活動法人 日本火山学会表彰規程

3. 表彰は各賞選考委員会が受賞候補者の選考を行い，理事会が候補者を決定し，総会の承認を経て行う。ただし、日本火山学会学生優秀発表賞は、各賞選考委員会が候補者を決定し、理事会で承認する。

7. 日本火山学会学生優秀発表賞の授賞件数は毎年数件程度とする。また、口頭発表賞、ポスター発表賞を受賞できるのは、それぞれ1回限りとする。